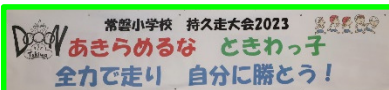




明け方まで降っていた雨の影響で、運動場はところどころぬかるんでいました。11月16日(木)に行われる持久走大会に向けて、予定通り7日(火)からかけ足週間をスタートさせたいという思いがありましたが、判断に迷う状況でした。そんな中で朝登校してくる子供たちに「かけ足やりたい?」とたずねてみると、「校長先生、かけ足やりたい!」「走りたい!」という声が圧倒的に多く返ってきて、正直驚きました。かけ足は苦しくなるし疲れるし辛いものだと思います、「やりたくない」という答えがたくさん返ってくると思っていたのですが、全く逆でした。常磐小の子供たちはかけ足を肯定的にとらえていて、苦しいことだからこそ頑張っていて、少しでも速く走れるようになりたいという思いが強く、何とも頼もしく感じました。空はまだどんより曇っていましたが、私の心は晴れ晴れし、かけ足をやろうと即決しました。常磐小の運動場は大変水はけがよく、ぬかるみはほとんどなくなりましたが、それでも今後のことを考えてぬかるみを避けたコースに一部変更し、予定通り青空タイムの10分間、低・中・高学年に分かれて、運動場のトラックを走りました。今年のスローガン通り、あきらめずに全力で走る子供たちの姿に感動しました。持久走大会に向けて、仲間と一緒に励まし合いながら走って体力を向上させ、持久走大会では悔いのない走りができることを願っています。今年も広々とした龍北総合運動場にて実施する予定ですので、保護者の皆様の温かな声援をよろしくお願いします。



環境委員会の企画運営による紅葉のオリエンテーリングを、10月31日(火)に実施しました。これは、毎日登下校を共にしている通学班で協力して活動することにより、他学年の児童との交流を深めること、学校の樹木を探したり名前を調べたりする活動を通して自然に親しむことを目的としたものです。活動内容は、ネイチャービンゴと運動場でのゲームの2つがありました。ネイチャービンゴでは、秋の俳句を詠む、野鳥の鳴きまねをする、大きい松ぼっくりをもって来る、どんぐりの帽子を持ってくるなど、9つのミッションを班で協力しながらこなして、ビンゴを作っていました。運動場のゲームでは、どんぐりつかみやどんぐりゴマバトル、松ぼっくりでわなゲームなど、環境委員の考えた6つのゲームにチャレンジして大いに盛り上がりました。



常磐小の秋を肌で感じ、仲間の大切さや温かさに触れられた素敵な行事となりました。